

NTTデータ  
Advanced Outsourcing

# クラウドサービスのトータル化を目指す Advanced Outsourcing の取り組み

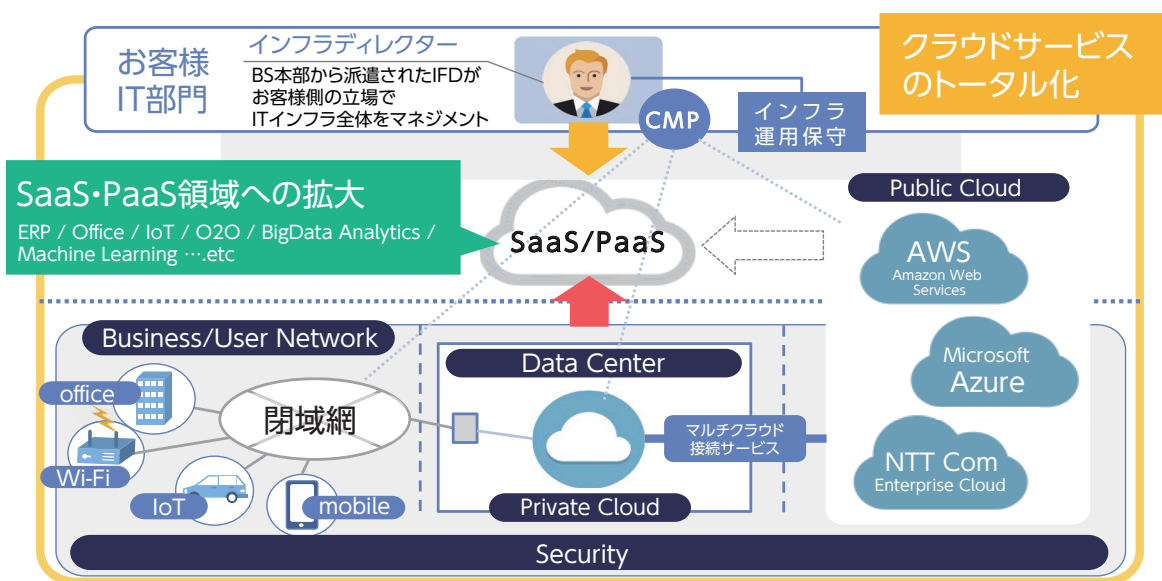
クラウド全盛の時代を迎え、企業のITインフラは新たな課題に直面しています。情報システムをオンプレに持つべきか、クラウドに持つべきか。さらにはビジネスのデジタル化が進む中でクラウドの利用は不可避となっており、様々なデバイスや拠点をつなぐネットワークや情報セキュリティの重要性も増す一方です。複雑化するITインフラをまとめるNTTデータのAdvanced Outsourcingの取り組みについて紹介します。

## ITインフラ領域の持続的拡大を図る Advanced Outsourcing (AO)

NTTデータではオフリングの強化として「Advanced Outsourcing」(以下、AO)の取り組みを進めています。

これは、コスト削減や効率化を目的とした従来のITインフラ・アウトソーシングではなく、お客様のビジネスインベーションを実現するため、ITインフラ領域のコンサルティングからインテグレーション、業務運用までトータルサービスとして提供することを目的としています。

ここ数年でクラウドは一気に実用化フェーズを迎えました。クラウドファーストやクラウドネイティブという言葉も良く聞かれるようになっていますが、その背景には、スマートフォンやConnected Carのようなエッジ側の進化も大きく関係しています。日々進化するデバイスへの対応や、日常的な機能拡充を実現するアジャイル開発環境、エッジとクラウドをつなぐネットワークや一気通貫なセキュリティサービスも必要となっています。NTTデータのAOでは、クラウド、ネットワーク、セキュリティを担う各組織が連携してデジタルビジネスの実現に不可欠な俊敏性と柔軟性



※Microsoft Azureは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

図1 Advanced Outsourcingの概念図

を併せ持った「クラウドサービスのトータル化」を図っています（図1参照）。

AOではもう1つ特徴的な取り組みがあります。それはインフラディレクター（IFD）の派遣を行なうというものです。

システム毎にインフラを調達・開発すると、コスト効率を下げるだけでなく、ガバナンスが効かなくなります。クラウドの普及に伴い、インフラとして管理すべき領域も広がりを見せており、IT部門だけでは管理しきれないほどITインフラが複雑化してしまうこともあります。

NTTデータのIFDはCIOの参謀役として、お客様先に常駐することでクラウドやネットワーク、セキュリティも含めたITインフラの課題を正確に把握し、お客様のビジネススピードに合わせた対応を行なうことが大きな特徴です。

### ミッションクリティカルなシステムが クラウド上で動く時代に向けて

クラウドベンダー各社はPaaSやSaaSのサービスを加速的に強化しており、それらを活用して、デジタルビジネスを早期に立ち上げようという企業が増えています。

NTTデータでも、こういった市場変化を捉え、知見や実績のあるクラウドベンダーとのパートナーシップを強化し、NTTデータグループの持つ様々なサービスをラインナップした「ハイブリット&マルチクラウドサービス」と、ITインフラ環境の提案～構築～運用までを行なう「クラウドインテグレーションサービス」の提供を拡大させています。その成果として、2016年10月にアマゾン ウェブ サービス（以下、AWS）が提供するパートナープログラムAWS Partner Network（以下、APN）の「AWS マネージメントサービスプログラム（以下、MSP）」の認定を取得すると共に、11月30日にはAPNの最上位にあたる「2017年AWS プレミアコンサルティングパートナー」に認定され、多様な構成、高信頼・高セキュリティ性を必要とするエンタープライズシステムの構築・運用管理の実績が世界トップレベ



図2 三鷹データセンター EAST 完成予想図

ルであると評されました。

また、直近では、セキュリティ対策に関する知見と実績のあるベンダーなどと共同で政府機関の情報システムをクラウドに移行する際のセキュリティ対策をまとめたリファレンスを発行するなど、各政府機関が安全にクラウドを活用するための支援なども行っています。

### 三鷹データセンター EASTを中心に エコシステムを上げる

こうしたこれまで培ってきたITインフラ領域のノウハウに加え、2018年2月に竣工予定の三鷹データセンター EAST（図2参照）を重要なサービス拠点としていく戦略を進めていきます。

約5,600ラック収容の国内最大級の堅牢で高信頼性を誇る最新鋭のファシリティ環境に加え、ハイブリット&マルチクラウドサービスの提供や、エッジ領域とデータセンターをつなぐ各種ネットワークサービス、高度なセキュリティサービスなどを提供していきます。

NTTデータは、今後のクラウド時代に向けて様々なレイヤーのプレイヤーが連携しながら、お客様のニーズに合わせて最適なサービスを作り上げるエコシステム型のビジネスモデルを牽引すべく、その中心となる三鷹データセンター EASTの建設も着々と進めています。

お問い合わせ先

株式会社NTTデータ ビジネスソリューション事業本部  
データセンター&クラウドサービス事業部 TEL : 050-5546-8622

※ <http://www.bcm.co.jp/>でも閲覧できます。